

洞窟と探検

-恐ろしくも美しく素晴らしい世界-

定員・回数 : 60人・3回
 時間・場所 : 午前10:00~11:30・生涯学習センター研修室
 費用 : 受講料600円
 講師 : 洞窟探検家 吉田勝次

前人未踏の洞窟を求めてどこへでも。世界中を探し回って探検した洞窟は1,000以上。数多くのテレビ番組での撮影取材や学術調査等で大きく注目されている日本屈指の洞窟探検家が、「異界」とも言われる荘厳で神秘的な「洞窟」と、危険と絶えず隣り合わせで挑む「探検」の魅力について、美しく・ときに恐ろしい数々の写真とともに、秘蔵のエピソードも交えながら、お話しします。

9/24(日)	<p>洞窟とは？</p> <p>洞窟には、地球と生命の歴史が詰まっています。それ故、洞窟は、古気候学、水文学、地質学、岩石学、地理学、生物学、考古学など多種多様な学問と深い関わりを持っています。初回は、洞窟のでき方、種類、地質、鍾乳洞と鍾乳石など、洞窟とはどのようなところなのか、詳しくお話しします。</p>
10/ 8(日)	<p>すきあらば探検 - 洞窟探検とは？ -</p> <p>17cmの隙間があれば身体を押し込み、真っ暗闇に広がる未知の地底を、時に宙づり、時に水没しながら、泥まみれで進む。恐怖と戦いながら、洞窟探検家は非日常の環境をどう生き延びていくのでしょうか？探検術や洞窟内での衣食住、睡眠、測量、撮影などについて、冷や汗が出てくるようなアクシデント体験を交えながら、お話しします。</p>
10/15(日)	<p>人生は、探検だ！ -洞窟探検家の道 -</p> <p>「探検」と「冒険」の違いは、どこにあるのでしょうか。その違いを語るとき、講師の「探検」へのこだわりが見えてきます。なぜ洞窟を探検するのか。洞窟探検の道に至った背景とともに、圧倒的な情熱で「前人未到の未知なる世界」へ挑み続ける探検への原動力についてお話しします。</p>

